

わたしたちの「街」の未来を考えよう！ 地域の街づくりに関する区民アンケート調査（Web調査） 集計結果

1. 調査概要

調査期間：令和5年11月15日（水）～令和5年12月15日（金）

調査対象：区内在住者・区内在勤者・区内在学者

調査方法：東京共同電子システムサービス上のアンケートフォームから回答

周知方法：区（おしらせ、ホームページ、メールマガジン、SNS（X（旧Twitter）、Facebook）、広報板）、チラシ掲示（各総合支所、二子玉川分庁舎、まちづくりセンター、オープンハウス・意見交換会場など）

調査票：世田谷地域29問、北沢地域32問、玉川地域25問、砧地域24問、烏山地域28問
各地域、日本語版と英語版の2種類を作成し、回答を受付

目的：「地域整備方針」の見直しにあたり、各地域のまちの姿の満足度や今後の街づくりについて調査対象者のお考えやご意見を伺い、今後の10年間の各地域の街づくりの方針や取組み等を検討するうえで参考にすることを目的にします。

2. 集計結果

	世田谷 地域	北沢 地域	玉川 地域	砧 地域	烏山 地域	5地域 計
回収数	15	14	20	13	10	72

3. 回答処理について

- ・ 集計結果の割合は、小数点第2位を四捨五入して第1位までの表記としているため、合計が100%に満たない場合や、100%を超える場合があります。
- ・ 複数回答の質問の集計結果の割合は、回答者数に占める割合を示しているため、合計が100%を超える場合があります。

4. 集計結果

(3) 玉川地域

1 あなた自身のことについて (回答者の属性)

問 1

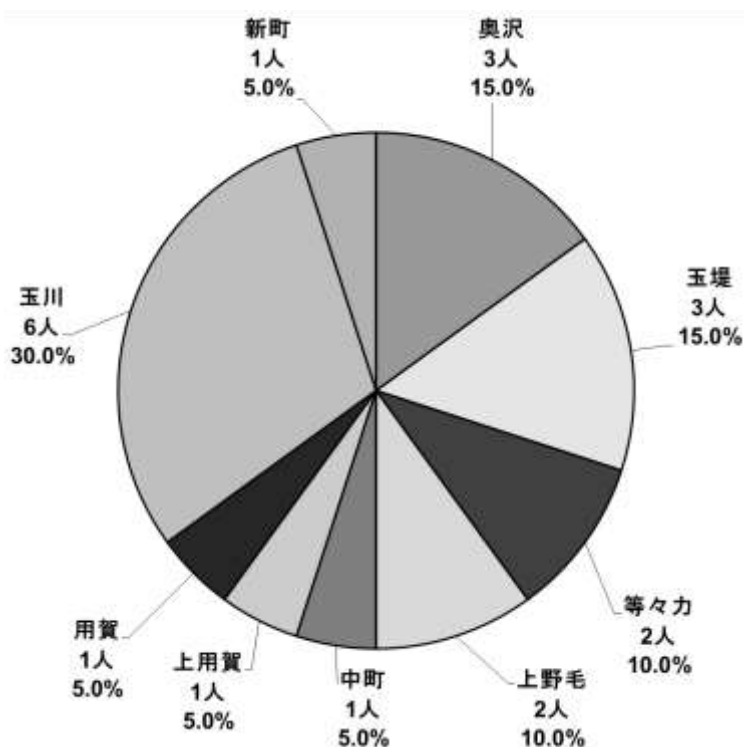
お住まいを丁目まで記載してください。

<回答>

●町別の集計

- ・「玉川」が6人(30.0%)のほか、「奥沢」「玉堤」「等々力」「上野毛」「中町」「上用賀」「用賀」「新町」にお住まいの方から、回答をいただきました。

町	回答数	割合
東玉川	—	—
奥沢	3人	15.0%
玉川田園調布	—	—
玉堤	3人	15.0%
尾山台	—	—
等々力	2人	10.0%
上野毛	2人	10.0%
中町	1人	5.0%
野毛	—	—
上用賀	1人	5.0%
玉川台	—	—
用賀	1人	5.0%
玉川	6人	30.0%
瀬田	—	—
駒沢	—	—
新町	1人	5.0%
深沢	—	—
駒沢公園	—	—
桜新町	—	—



●町丁目別の集計

町	丁目	回答数	割合
東玉川	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
奥沢	1丁目	1人	5.0%
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
	5丁目	—	—
	6丁目	1人	5.0%
	7丁目	1人	5.0%
	8丁目	—	—
玉川 田園調布	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
玉堤	1丁目	3人	15.0%
	2丁目	—	—
尾山台	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
等々力	1丁目	1人	5.0%
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	1人	5.0%
	5丁目	—	—
	6丁目	—	—
	7丁目	—	—
	8丁目	—	—
上野毛	1丁目	1人	5.0%
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	1人	5.0%
中町	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
野毛	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
上用賀	1丁目	—	—
	2丁目	—	—

町	丁目	回答数	割合
上用賀	3丁目	—	—
	4丁目	1人	5.0%
	5丁目	—	—
	6丁目	—	—
玉川台	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
用賀	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	1人	5.0%
玉川	1丁目	6人	30.0%
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
瀬田	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
	5丁目	—	—
駒沢	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
	5丁目	—	—
新町	1丁目	—	—
	2丁目	1人	5.0%
	3丁目	—	—
深沢	1丁目	—	—
	2丁目	—	—
	3丁目	—	—
	4丁目	—	—
	5丁目	—	—
	6丁目	—	—
	7丁目	—	—
	8丁目	—	—
駒沢公園		—	—
桜新町	1丁目	—	—
	2丁目	—	—

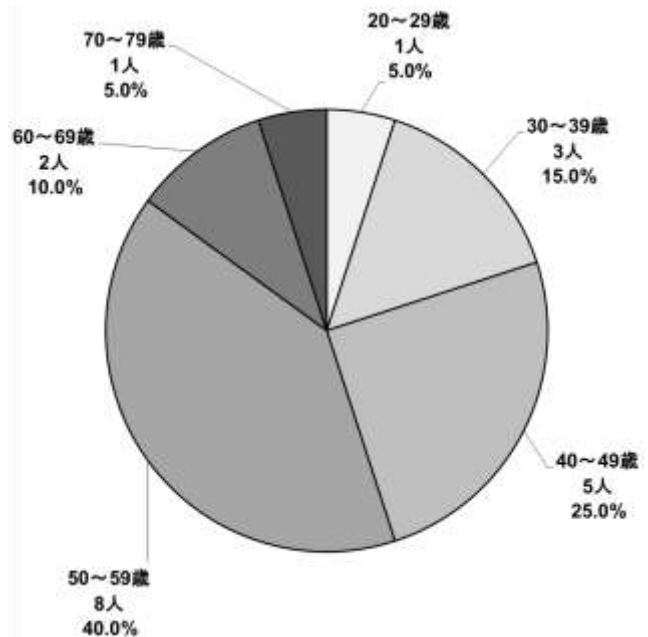
問2

年齢に○をつけてください。

<回答>

・「50歳代」が8人(40.0%)、「40歳代」が5人(25.0%)、「30歳代」が3人(15.0%)などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 16～19歳	—	—
2 20～29歳	1人	5.0%
3 30～39歳	3人	15.0%
4 40～49歳	5人	25.0%
5 50～59歳	8人	40.0%
6 60～69歳	2人	10.0%
7 70～79歳	1人	5.0%
8 80歳～	—	—

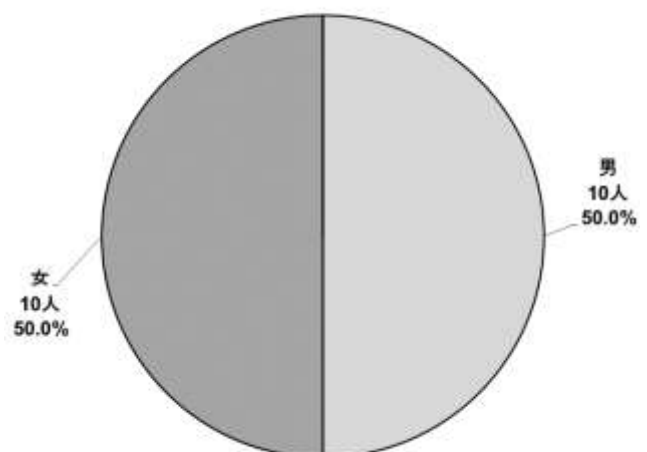
**問3**

性別に○をつけてください。

<回答>

・「男」が10人(50.0%)、「女」が10人(50.0%)となっています。

選択肢	回答数	割合
1 男	10人	50.0%
2 女	10人	50.0%
3 その他	—	—



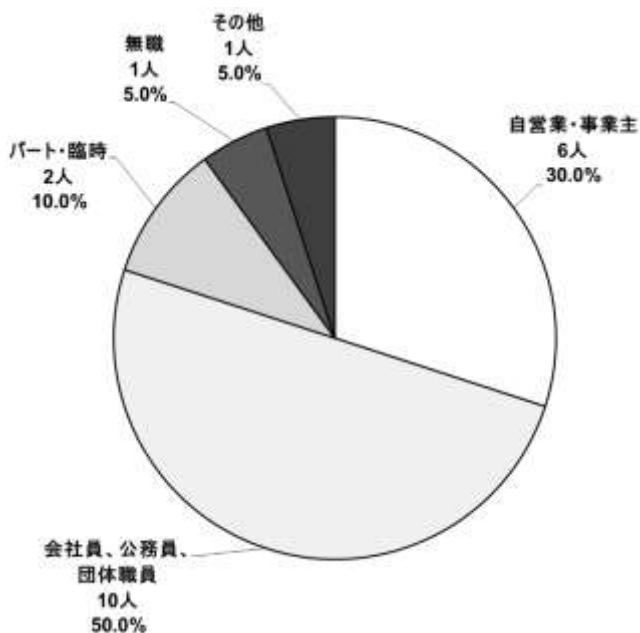
問4

職業に○をつけてください。

<回答>

・「会社員、公務員、団体職員」が最も多く10人（50.0%）であり、次いで「自営業・事業主」が6人（30.0%）、「パート・臨時」が2人（10.0%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 自営業・事業主	6人	30.0%
2 会社員、 公務員、団体職員	10人	50.0%
3 パート・臨時 (非常勤、嘱託、派遣等を含む)	2人	10.0%
4 その他就業者 (家族従業者、農業従業者等)	—	—
5 家事専業	—	—
6 学生	—	—
7 無職	1人	5.0%
8 その他	1人	5.0%



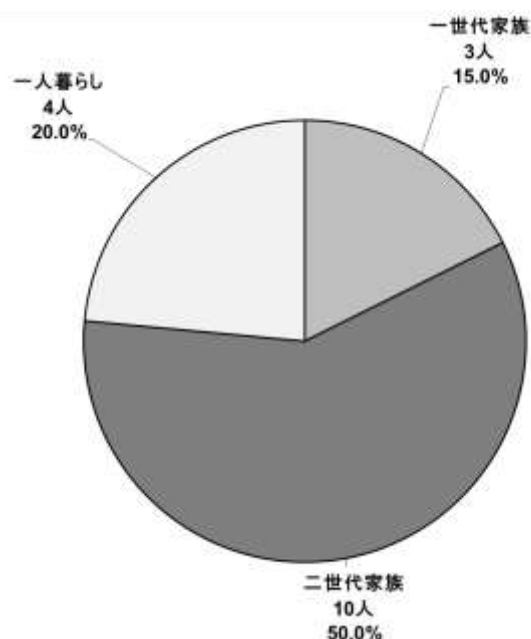
問5

同居する家族構成に○をつけてください。

<回答>

・「二世世代家族」が最も多く10人（50.0%）、「一人暮らし」が4人（20.0%）、「一世代家族」が3人（15.0%）となっています。

選択肢	回答数	割合
1 一世代家族 (例：あなたと 夫・妻・ パートナー)	3人	15.0%
2 二世世代家族 (例：あなたと 子ども・父母)	10人	50.0%
3 三世世代家族 (例：あなたと 子どもと孫・ 子どもと父母・ 祖父母と父母)	—	—
4 一人暮らし	4人	20.0%
5 その他	—	—



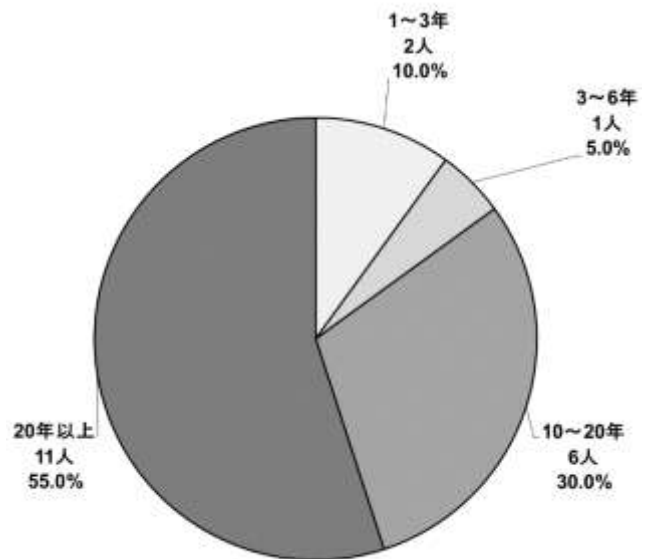
問6

世田谷区での居住年数に○をつけてください。

<回答>

・「20年以上」が11人（55.0%）、「10年以上20年未満」が6人（30.0%）、「1年以上3年未満」が2人（10.0%）、「3年以上6年未満」が1人（5.0%）となっています。

町	回答数	割合
1 1年未満	—	—
2 1年以上3年未満	2人	10.0%
3 3年以上6年未満	1人	5.0%
4 6年以上10年未満	—	—
5 10年以上20年未満	6人	30.0%
6 20年以上	11人	55.0%



2 身近なまちの満足度について

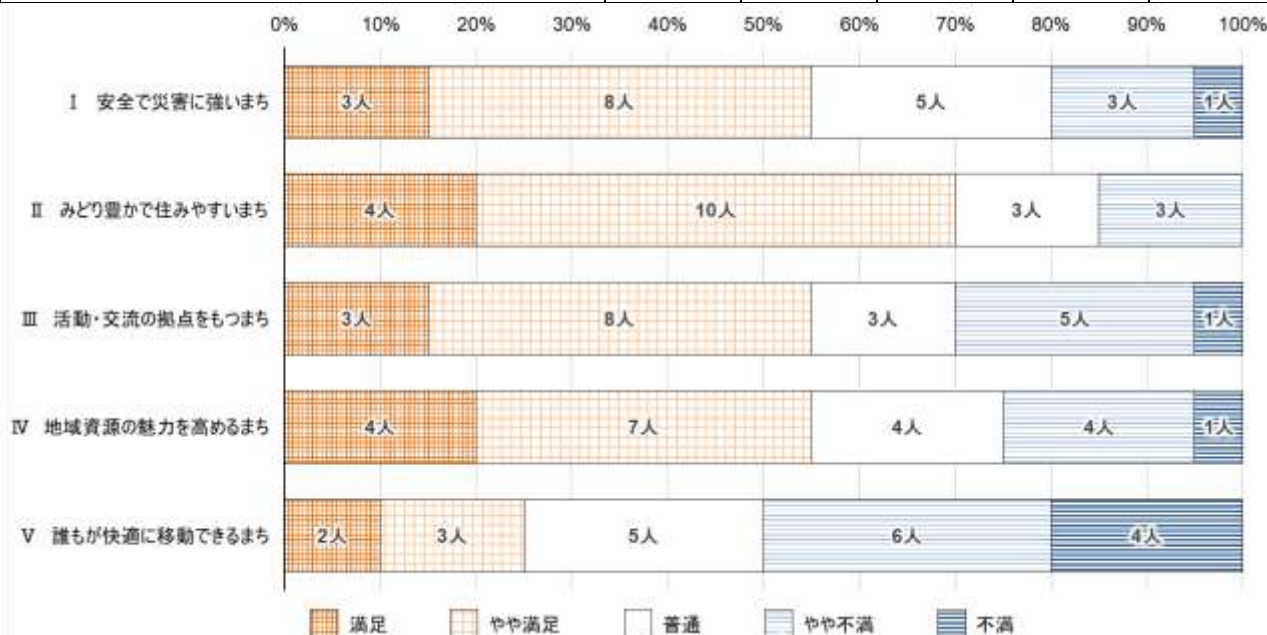
問7 (1)

平成27年4月に策定した「世田谷区都市整備方針（地域整備方針）」の中で、概ね20年後を見据えた玉川地域のまちの姿を、下表のⅠ～Ⅴの〈テーマ〉に沿って設定しました。お住まいのまちについて、Ⅰ～Ⅴのまちの姿に対する現在の満足度をお聞かせください。1（満足）から5（不満）のいずれかに○をつけてください。

<回答>

- ・テーマⅡの「みどり豊かで住みやすいまち」については、「満足」と「やや満足」を合わせると14人（70.0%）となり、満足度が高くなっています。一方、テーマⅤの「誰もが快適に移動できるまち」については、「不満」と「やや不満」を合わせると10人（50.0%）で、「満足」と「やや満足」を合わせた5人（25.0%）よりも多くなっています。

まちの姿	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
〈Ⅰ 安全で災害に強いまち〉 地震や火災、水害等の自然災害に強く、防犯にも配慮した安全で安心して暮らせるまち	3人 15.0%	8人 40.0%	5人 25.0%	3人 15.0%	1人 5.0%
〈Ⅱ みどり豊かで住みやすいまち〉 先人たちから受け継いだ、みどり豊かで都市基盤の整った街なみを維持・発展させるとともに、農のある風景を守り伝え、環境にやさしく快適で住みよいまち	4人 20.0%	10人 50.0%	3人 15.0%	3人 15.0%	—
〈Ⅲ 活動・交流の拠点をもつまち〉 二子玉川をはじめとした、地域の個性を活かした商店街のにぎわいや、業務などの機能が充実した交流と生活の拠点が身近にあり、誰もが歩いて暮らせるまち	3人 15.0%	8人 40.0%	3人 15.0%	5人 25.0%	1人 5.0%
〈Ⅳ 地域資源の魅力を高めるまち〉 国分寺崖線や等々力渓谷などの豊かな自然資源をはじめ、サザエさん通りや九品仏等の歴史・文化資源を活かした、魅力あふれるまち	4人 20.0%	7人 35.0%	4人 20.0%	4人 20.0%	1人 5.0%
〈Ⅴ 誰もが快適に移動できるまち〉 人・自転車・車が安全に行きかう道路と、利用しやすい公共交通機関の環境整備が進み、誰もが安心して快適に移動できるまち	2人 10.0%	3人 15.0%	5人 25.0%	6人 30.0%	4人 20.0%



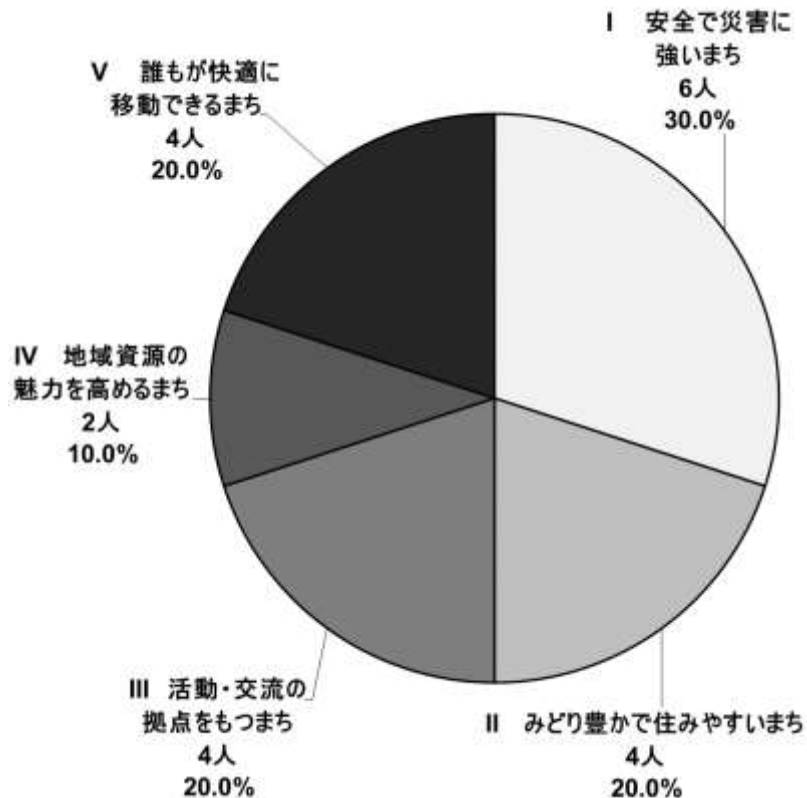
問7(2)

I～Vの中で、あなたが特に重要だと思うもの1つに○をつけてください。

<回答>

・「安全で災害に強いまち」が最も多く6人(30.0%)となっています。

まちの姿	回答数	割合
〈I 安全で災害に強いまち〉 地震や火災、水害等の自然災害に強く、防犯にも配慮した安全で安心して暮らせるまち	6人	30.0%
〈II みどり豊かで住みやすいまち〉 先人たちから受け継いだ、みどり豊かで都市基盤の整った街なみを維持・発展させるとともに、農のある風景を守り伝え、環境にやさしく快適で住みよいまち	4人	20.0%
〈III 活動・交流の拠点をもつまち〉 二子玉川をはじめとした、地域の個性を活かした商店街のにぎわいや、業務などの機能が充実した交流と生活の拠点が身近にあり、誰もが歩いて暮らせるまち	4人	20.0%
〈IV 地域資源の魅力を高めるまち〉 国分寺崖線や等々力溪谷などの豊かな自然資源をはじめ、サザエさん通りや九品仏等の歴史・文化資源を活かした、魅力あふれるまち	2人	10.0%
〈V 誰もが快適に移動できるまち〉 人・自転車・車が安全に行きかう道路と、利用しやすい公共交通機関の環境整備が進み、誰もが安心して快適に移動できるまち	4人	20.0%



I 安全で災害に強いまちについて

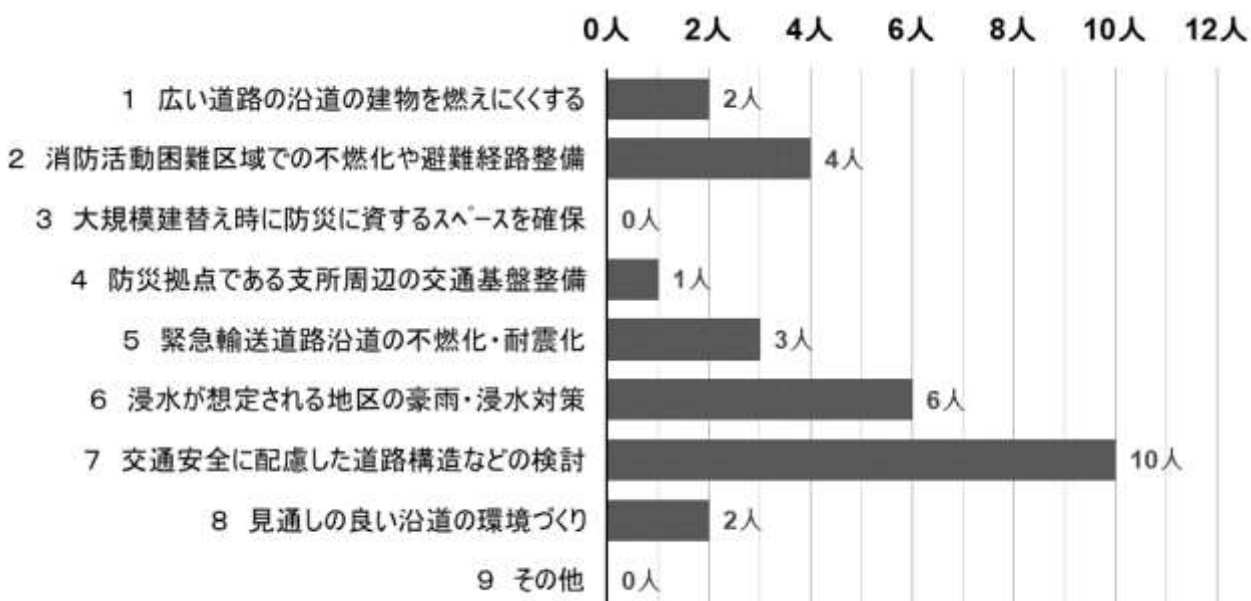
問8

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

・「交通安全に配慮し、道路の隅切り等の整備やスピードを出しにくい道路構造などの検討を進める」が延べ10人（50.0%）、「浸水による被害が想定される地区で、豪雨・浸水対策を進める」が延べ6人（30.0%）、「狭い道路が多く消防活動がしにくい地区などでは、火災に強く燃えにくい建物を増やし、避難ができる身近な道路や公園、広場を整備する」が延べ4人（20.0%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 火災が燃え広がらないよう、広い道路の整備にあわせ沿道の建物を燃えにくくする	2人	10.0%
2 狭い道路が多く消防活動がしにくい地区などでは、火災に強く燃えにくい建物を増やし、避難ができる身近な道路や公園、広場を整備する	4人	20.0%
3 大きな敷地で建物を建替える際には、地域の防災に貢献するようなスペースやみどりを確保する	—	—
4 災害時に地域の防災機能の拠点となる玉川総合支所に人や物資が移動しやすいよう、支所周辺の交通基盤整備を進める	1人	5.0%
5 環状8号線、目黒通り、玉川通りなどの緊急輸送道路沿いの建物を火災と地震に強くし、災害時の物資輸送路を確保する	3人	15.0%
6 浸水による被害が想定される地区で、豪雨・浸水対策を進める	6人	30.0%
7 交通安全に配慮し、道路の隅切り等の整備やスピードを出しにくい道路構造などの検討を進める	10人	50.0%
8 犯罪のない街づくりのため、見通しの良い沿道の環境づくりを進める	2人	10.0%
9 その他	—	—



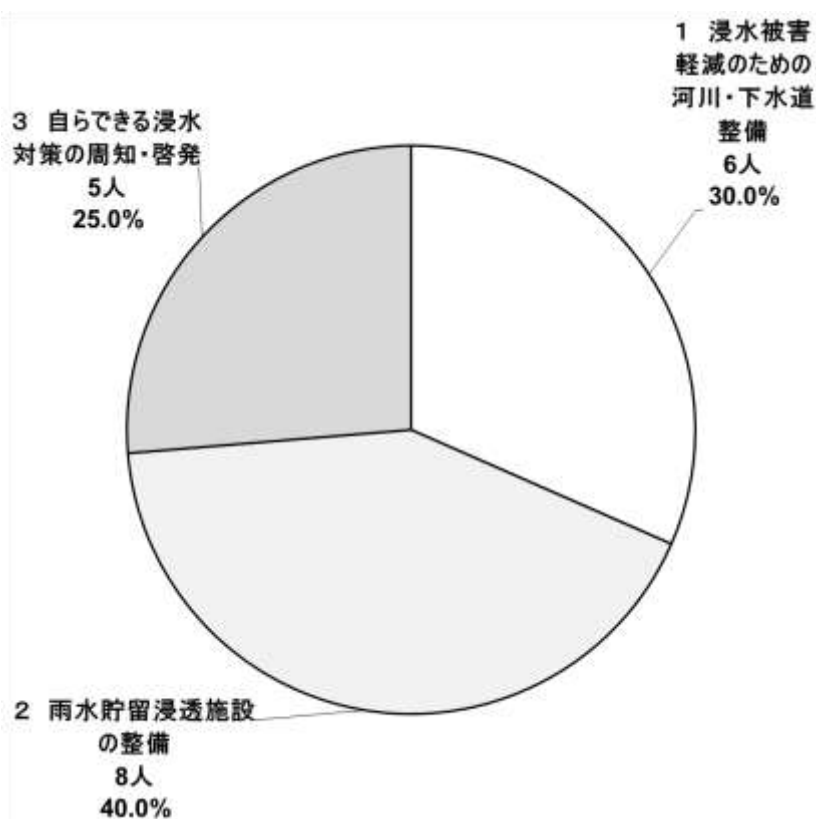
問9

お住まいのまちで、「安全で水害に強いまち」にするために積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

<回答>

- ・「雨水が短時間に河川、下水道などに流れ込まないようにするため、雨水貯留浸透施設の整備を進める」が最も多く8人（40.0%）、「浸水被害を軽減するため、河川・下水道整備を進める」が6人（30.0%）、「浸水しにくい家づくりの手法や土のう等による簡易対策など、自らできる浸水対策の周知・啓発を進める」が5人（25.0%）となっています。

選択肢	回答数	割合
1 浸水被害を軽減するため、河川・下水道整備を進める	6人	30.0%
2 雨水が短時間に河川、下水道などに流れ込まないようにするため、雨水貯留浸透施設の整備を進める	8人	40.0%
3 浸水しにくい家づくりの手法や土のう等による簡易対策など、自らできる浸水対策の周知・啓発を進める	5人	25.0%
4 その他	—	—



Ⅱ みどり豊かで住みやすいまちについて

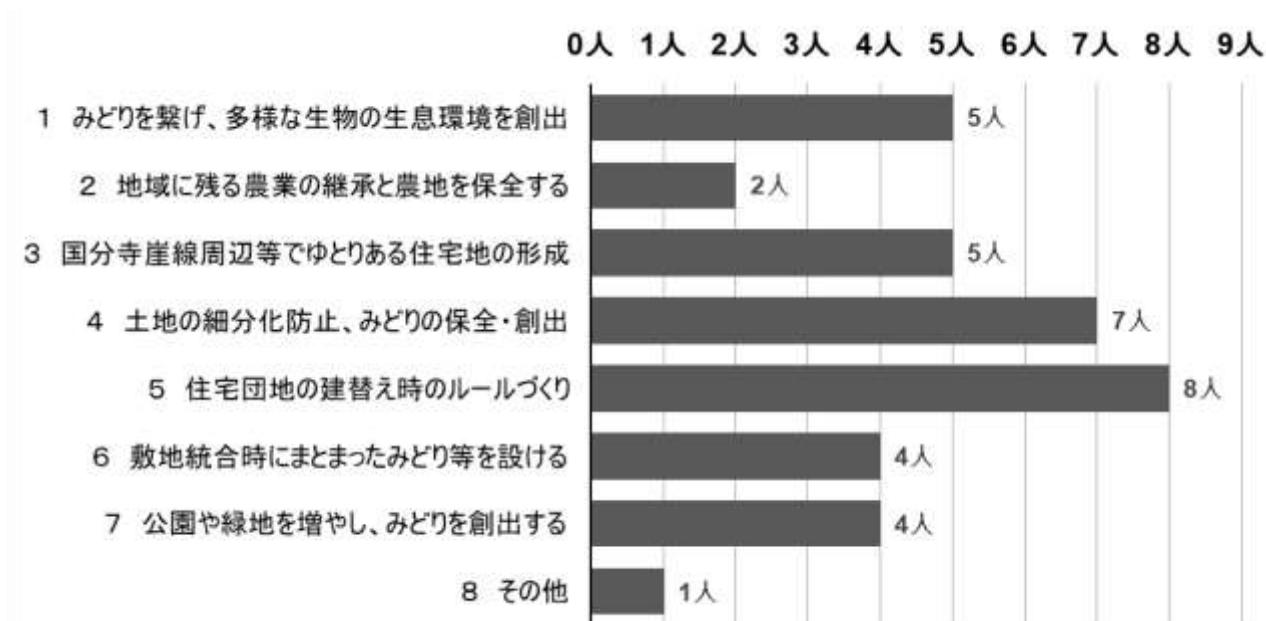
問10

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「住宅団地の建替えにあたって、ゆとりある建物配置や敷地内の緑化を増やすなど、周辺環境と調和するためのルールを設ける」が延べ8人（40.0%）で最も多く、次いで「住宅地では建替え時の土地の細分化を防止するとともに、みどりの保全・創出を図る」が延べ7人（35.0%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 緑道や水辺、街路樹及び民有地などのみどりをつなげ、多様な生物が生息できる環境を創出する	5人	25.0%
2 地域に残る農業の継承と農地を保全する	2人	10.0%
3 国分寺崖線周辺のまとまったみどりが多い地区では、風致地区制度などを活用し、ゆとりある住宅地の形成を図る	5人	25.0%
4 住宅地では建替え時の土地の細分化を防止するとともに、みどりの保全・創出を図る	7人	35.0%
5 住宅団地の建替えにあたって、ゆとりある建物配置や敷地内の緑化を増やすなど、周辺環境と調和するためのルールを設ける	8人	40.0%
6 複数の敷地を統合して一つの建物を建てる際には、まとまったみどりや広場等を設ける	4人	20.0%
7 公園や緑地を増やし、みどりを創出する	4人	20.0%
8 その他	1人	5.0%



★「その他」の内容

公園やプレーパークを増やし、フリースクール等の教育機関と連携する。

Ⅲ 活動・交流の拠点をもつまちについて

問 1 1

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「奥沢駅・自由が丘駅周辺、用賀駅周辺、等々力駅・尾山台駅周辺において、公共交通等の乗り継ぎを強化し、歩きやすく活気のある街をつくる」が延べ11人（55.0%）、「二子玉川駅周辺において、商業・業務・文化・交流・レクリエーションなどの機能をより充実させることなどにより魅力を高める」が延べ7人（35.0%）、「桜新町駅周辺、九品仏駅周辺、上野毛駅・中町周辺及び東深沢周辺において、商店街が連続しみどりが感じられる親しみやすい街をつくる」が延べ6人（30.0%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 二子玉川駅周辺において、商業・業務・文化・交流・レクリエーションなどの機能をより充実させることなどにより魅力を高める	7人	35.0%
2 奥沢駅・自由が丘駅周辺、用賀駅周辺、等々力駅・尾山台駅周辺において、公共交通等の乗り継ぎを強化し、歩きやすく活気のある街をつくる	11人	55.0%
3 桜新町駅周辺、九品仏駅周辺、上野毛駅・中町周辺及び東深沢周辺において、商店街が連続しみどりが感じられる親しみやすい街をつくる	6人	30.0%
4 上用賀公園や、玉川野毛町公園など、特色ある公園の整備を進める	4人	20.0%
5 東玉川、奥沢、等々力地区等で、身近な公園・広場の整備を進め、活動や交流の場をつくる	3人	15.0%
6 買い物に関する利便性を高めるため、幹線道路の沿道などで日常生活に必要な店舗等の誘導を図る	2人	10.0%
7 環状8号線、目黒通り、玉川通りなどの幹線道路の沿道において、魅力ある沿道型店舗や事務所等の立地を促進する	1人	5.0%
8 住宅と工場が共存する地区では、生産環境の保全・充実により、ものづくりの振興を図る	1人	5.0%
9 その他	1人	5.0%



★「その他」の内容

用賀駅近くの首都高速道路高架下の谷沢川兩岸のスペースを、駐輪場、児童遊園含めてもっと活動や交流ができるよう、住民参加で更新していきたい。

問 1 2

玉川地域内であなたが特によく利用する公園について、A欄の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

また、その公園を利用する目的について、B欄の中からあてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

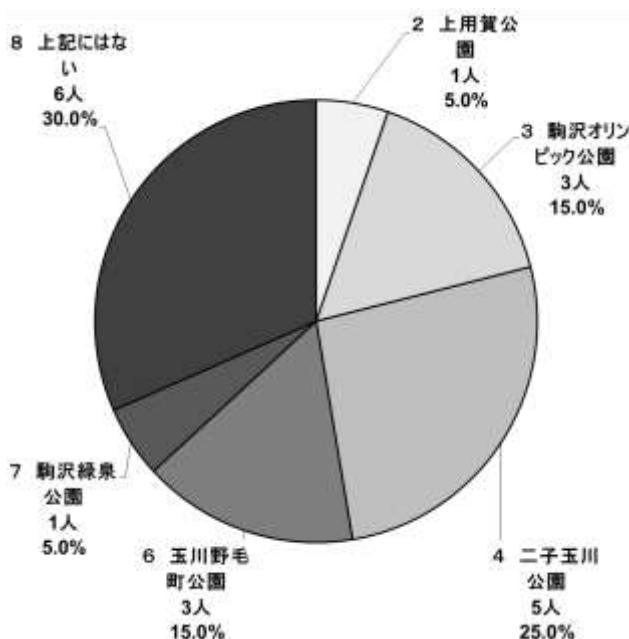
- ・よく利用する公園としては「上記にはない公園名」が最も多く6人(30.0%)、次いで「二子玉川公園」が5人(25.0%)、「駒沢オリンピック公園」と「玉川野毛町公園」がそれぞれ3人(15.0%)などの順となっています。
- ・「上記にはない公園名」としては、兵庫島公園(2人)、ねこじゃらし公園、砦公園などの公園が挙がっています。
- ・利用目的としては「休憩や飲食ができるスペース」が延べ8人(40.0%)、「散歩やジョギングなど、日常的な運動をしやすい環境」が最も多く延べ7人(35.0%)、「植物や生物に触れられる環境」が延べ6人(30.0%)などの順となっています。

よく利用する公園

選択肢	回答数	割合
1 馬事公苑	—	—
2 上用賀公園	1人	5.0%
3 駒沢オリンピック公園	3人	15.0%
4 二子玉川公園	5人	25.0%
5 等々力溪谷公園	—	—
6 玉川野毛町公園	3人	15.0%
7 駒沢緑泉公園	1人	5.0%
8 上記にはない公園名	6人	30.0%

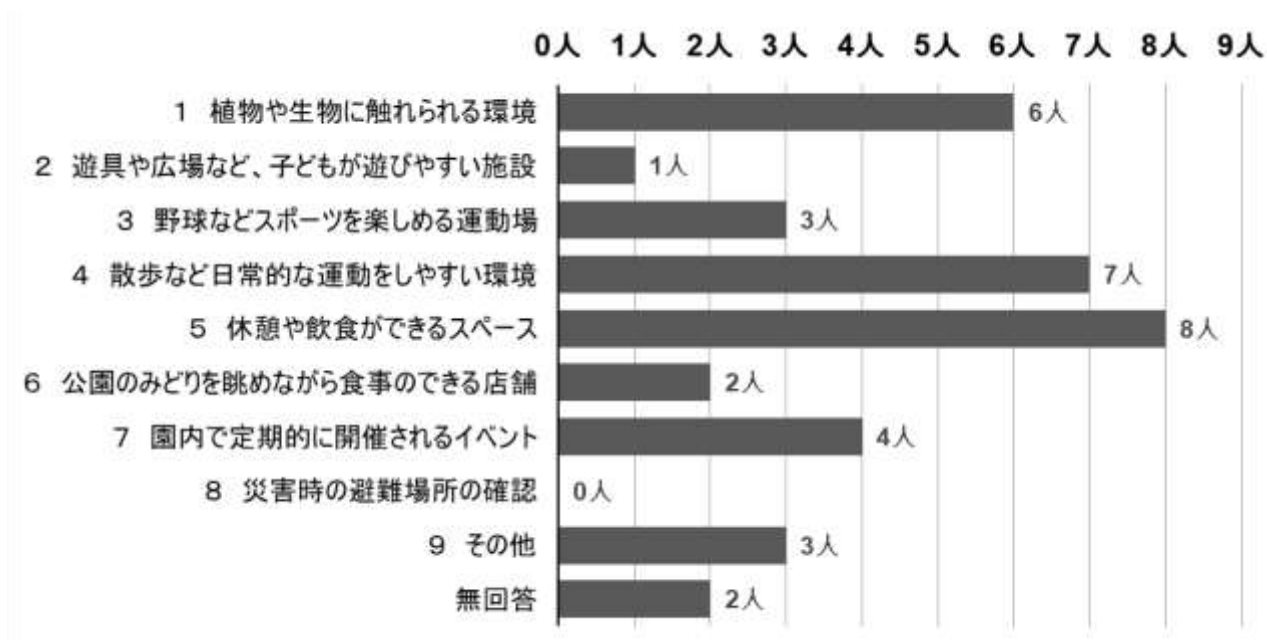
★「上記にはない公園名」の内容

兵庫島公園 (2人)
ねこじゃらし公園
砦公園
公園を利用していない (2人)



利用する目的

選択肢	回答数	割合
1 植物や生物に触れられる環境	6人	30.0%
2 遊具や広場など、子どもが遊びやすい施設	1人	5.0%
3 野球やサッカーなどのスポーツを楽しめる運動場	3人	15.0%
4 散歩やジョギングなど、日常的な運動をしやすい環境	7人	35.0%
5 木陰やベンチなど、休憩や飲食ができるスペース	8人	40.0%
6 公園のみどりを眺めながら食事のできる店舗	2人	10.0%
7 参加して楽しむことができる、園内で定期的に行われるイベント	4人	20.0%
8 災害時の避難場所の確認	—	—
9 その他	3人	15.0%



★「その他」の内容

近い。
多摩川の自然を近くに感じられる環境。
火起こしなど教育としてできる。

IV 地域資源の魅力を高めるまちについて

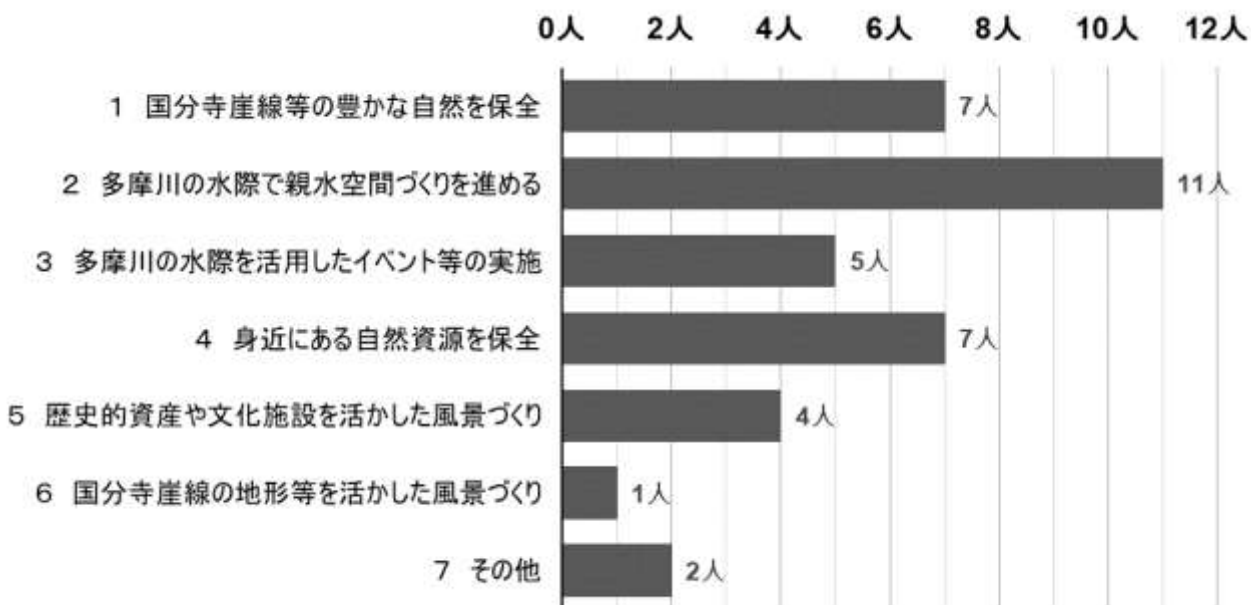
問 1 3

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「多摩川の水際に、みずとみどりに親しめる空間づくりを進める」が延べ11人（55.0%）、次いで「国分寺崖線や等々力溪谷などの豊かな自然を保全する」と「九品仏一帯など、地域の歴史を伝える社寺林や宅地の周りの樹林などの身近にある自然資源を保全する」が延べ7人（35.0%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 国分寺崖線や等々力溪谷などの豊かな自然を保全する	7人	35.0%
2 多摩川の水際に、みずとみどりに親しめる空間づくりを進める	11人	55.0%
3 多摩川の水際を活用して、人々が交流できるイベント等を実施する	5人	25.0%
4 九品仏一帯など、地域の歴史を伝える社寺林や宅地の周りの樹林などの身近にある自然資源を保全する	7人	35.0%
5 大山道や筏道といった古道や文化財などの歴史的資産や、五島美術館や宮本三郎記念館などの文化施設を活かした風景づくりを進める	4人	20.0%
6 富士山や多摩川を眺望できる国分寺崖線の豊かな地形やみどりを活かした風景づくりを進める	1人	5.0%
7 その他	2人	10.0%



★「その他」の内容

健全者のためではなく、障害のある方を含め、あまねく人々にどうひらいていくのか。インクルーシブパークにふさわしいカフェを作るなどして、自然な繋がり場を。

大きな公園が多く、プレーパークなどを多く作っているからこそ、そこに連携して教育×緑の施設を増やす。

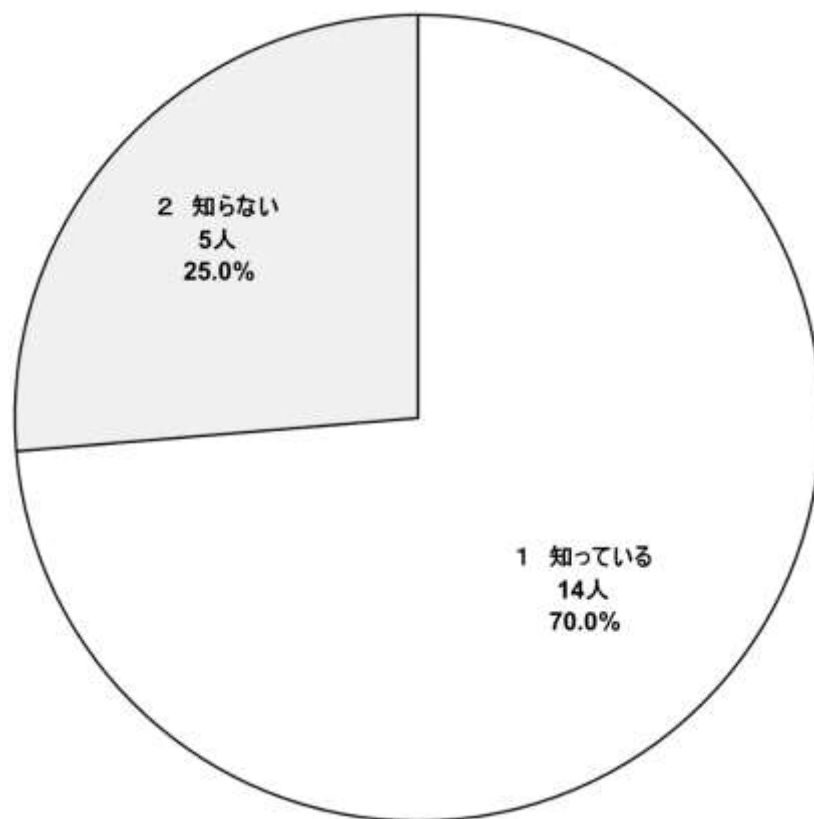
問 1 4

あなたは、玉川地域に、国分寺崖線があることをご存知ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

<回答>

- ・「知っている」が14人（70.0%）で、「知らない」の5人（25.0%）よりも多い結果となっています。

選択肢	回答数	割合
1 知っている	14人	70.0%
2 知らない	5人	25.0%



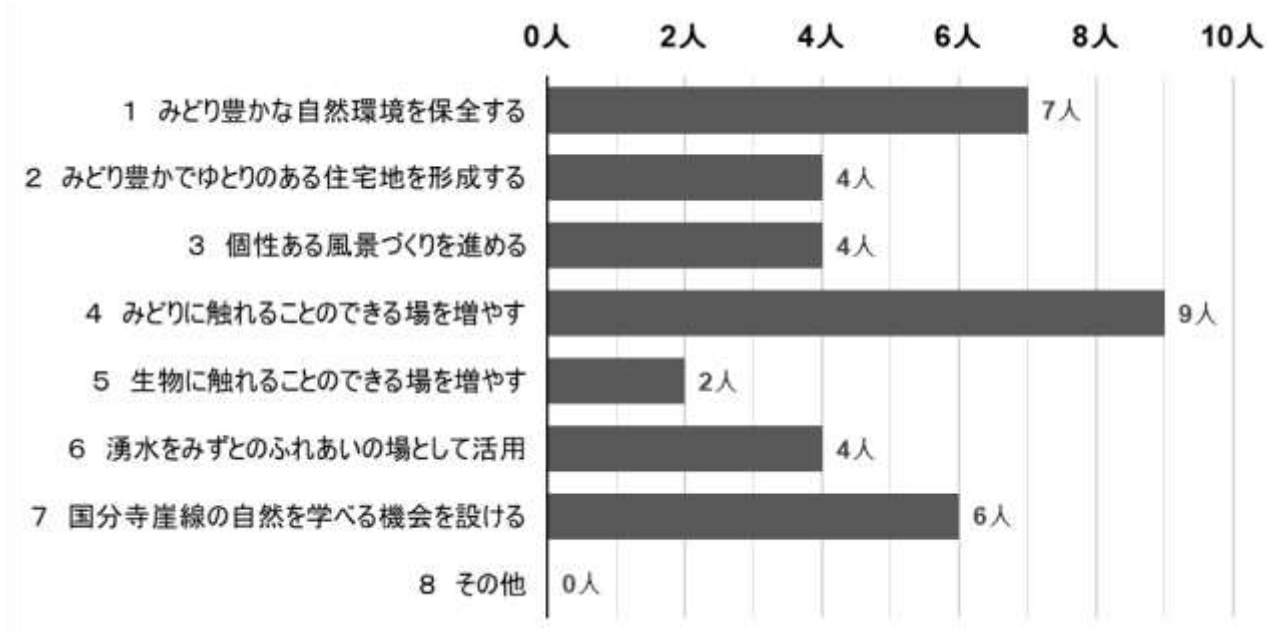
問 15

国分寺崖線の魅力を活かすために、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

・「みどりに触れることのできる場を増やす」が延べ9人（62.6%）、次いで「みどり豊かな自然環境を保全する」が延べ7人（35.0%）、「地域住民が国分寺崖線の自然について学べる機会を設ける」が延べ6人（30.0%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 みどり豊かな自然環境を保全する	7人	35.0%
2 みどり豊かでゆとりのある住宅地の形成を図る	4人	20.0%
3 個性ある風景づくりを進める	4人	20.0%
4 みどりに触れることのできる場を増やす	9人	45.0%
5 生物に触れることのできる場を増やす	2人	10.0%
6 湧水を、自然のみずとのふれあいの場として活用する	4人	20.0%
7 地域住民が国分寺崖線の自然について学べる機会を設ける	6人	30.0%
8 その他	—	—



V 誰もが快適に移動できるまちについて

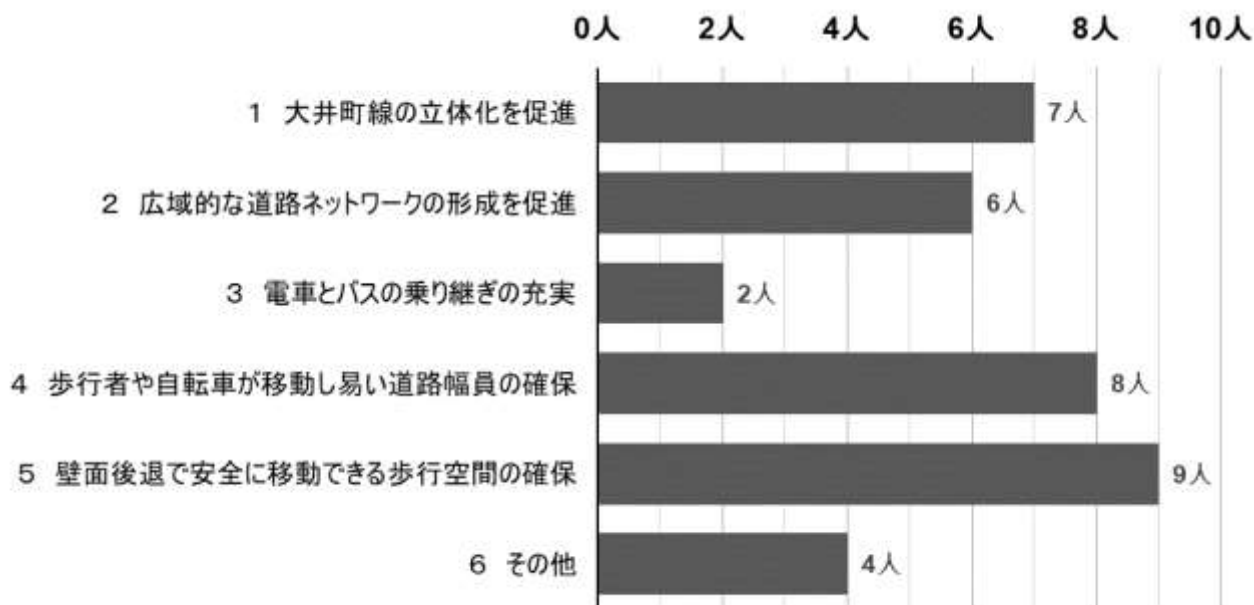
問 16

お住まいのまちで、積極的に取り組むべきと思うことについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「建物の壁面を道路から後退させ、商店街の壁面後退など安全に移動できる歩行空間を確保する」が延べ9人（45.0%）で最も多く、次いで「都市計画道路などの整備により、歩行者や自転車が安全で快適に移動できる道路の幅員を確保する」が延べ8人（40.0%）、「大井町線の立体化を促進し、踏切による交通の分断を解消する」が延べ7人（35.0%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 大井町線の立体化を促進し、踏切による交通の分断を解消する	7人	35.0%
2 広域的な道路ネットワークの形成を促進し、環状8号線や玉川通り、目黒通りの渋滞解消、住宅街への通り抜け車両の減少を図る	6人	30.0%
3 駅からバス停までの距離の短縮などによって、電車とバスの乗り継ぎの充実を図り、公共交通のネットワークを強化する	2人	10.0%
4 都市計画道路などの整備により、歩行者や自転車が安全で快適に移動できる道路の幅員を確保する	8人	40.0%
5 建物の壁面を道路から後退させ、商店街の壁面後退など安全に移動できる歩行空間を確保する	9人	45.0%
6 その他	4人	20.0%



★「その他」の内容

大井町線の急行を廃止して、沿線の住民や通勤通学者の利便性を図る。

用賀駅前の歩行者天国化。

用賀中町通りの渋滞解消をしてほしい。

広幅員道路の歩道の幅を広げ、街路樹、植栽帯を充実、住民ボランティアで花植えなど楽しく歩きたくなる空間にする。

3 玉川地域の街づくりの取組みについて

I 公共交通に関する取組みについて

南北交通の強化や公共交通不便地域の解消への取組みとして、玉川地域において以下2つのバス路線の開設に区が携わったことから、これらのバス路線を「世田谷区のコミュニティバス」として位置づけています。

問17

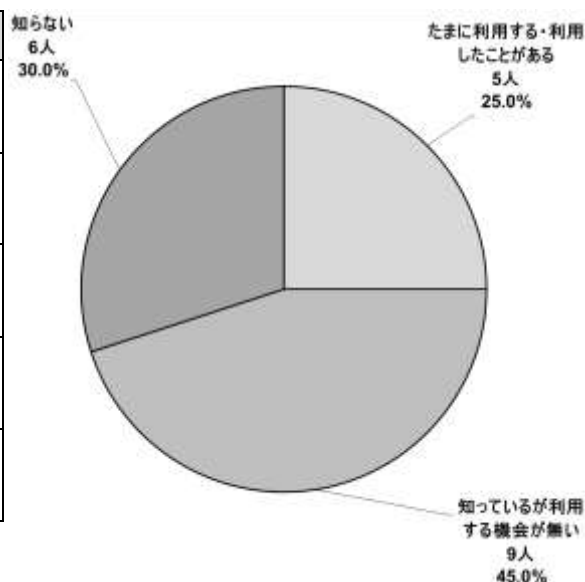
上記コミュニティバスの利用状況について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

<回答>

- ・「等13」「等01」ともに「知っているが利用する機会が無い」がそれぞれ9人（45.0%）と12人（60.0%）で最も多く、次いで「知らない」がそれぞれ6人（30.0%）と4人（20.0%）となっています。

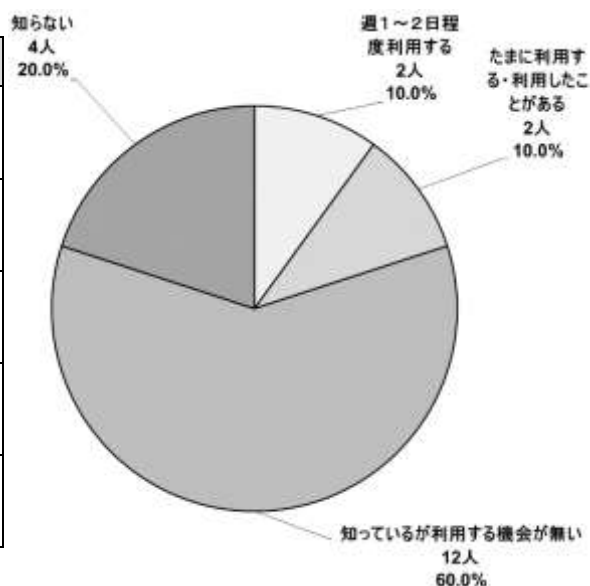
等13 等々力-梅ヶ丘路線

選択肢	回答数	割合
1 普段から利用している (週3日以上)	—	—
2 週1～2日程度利用する	—	—
3 たまに利用する・ 利用したことがある	5人	25.0%
4 知っているが利用する機会が 無い	9人	45.0%
5 知らない	6人	30.0%



等01 玉堤循環路線(タマリバーバス)

選択肢	回答数	割合
1 普段から利用している (週3日以上)	—	—
2 週1～2日程度利用する	2人	10.0%
3 たまに利用する・ 利用したことがある	2人	10.0%
4 知っているが利用する機会が 無い	12人	60.0%
5 知らない	4人	20.0%



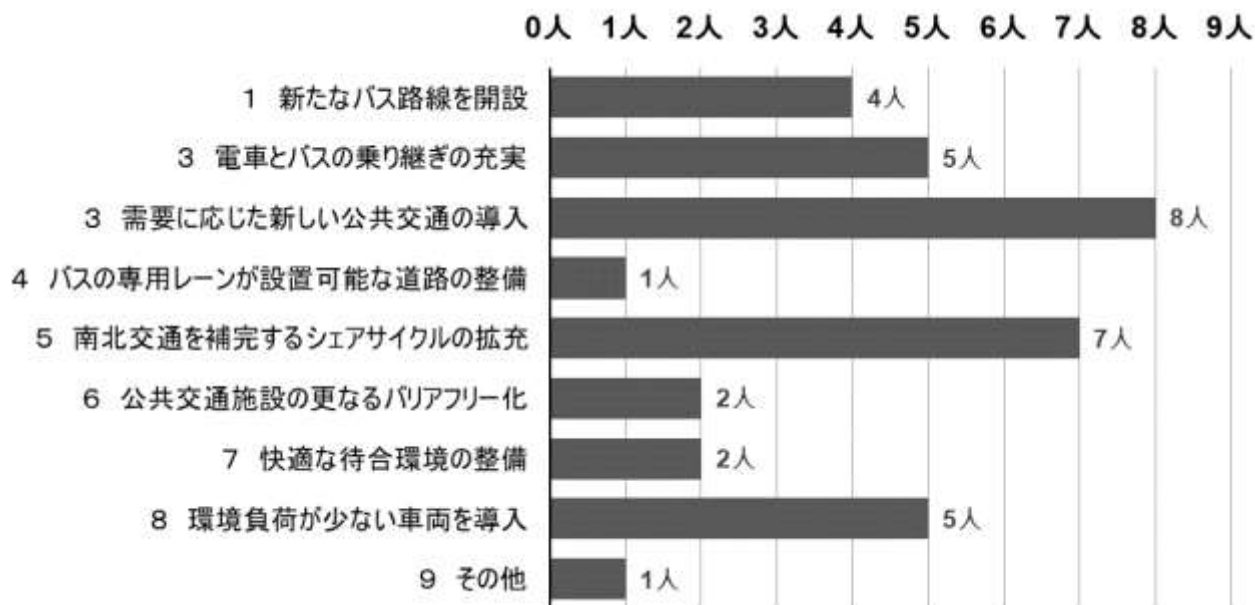
問 18

あなたがお住まいの身近なまちで、今後の公共交通に期待することについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「ワゴン車等によるデマンド型交通など、需要に応じた新しい公共交通を導入する」が最も多く延べ8人（40.0%）、次いで「南北交通を補完するために、シェアサイクルを拡充する」が延べ7人（35.0%）などの順となっています。

選択肢	回答数	割合
1 新たなバス路線を開設する	4人	20.0%
2 駅からバス停までの距離の短縮など、バスと鉄道の乗り換えをしやすくする	5人	25.0%
3 ワゴン車等によるデマンド型交通など、需要に応じた新しい公共交通を導入する	8人	40.0%
4 バスの専用レーンが設置可能な道路の整備を進める	1人	5.0%
5 南北交通を補完するために、シェアサイクルを拡充する	7人	35.0%
6 公共交通施設の更なるバリアフリー化を推進する	2人	10.0%
7 バス停にベンチや上屋を設置するなど、快適な待合環境を整備する	2人	10.0%
8 環境負荷が少ない車両を導入する	5人	25.0%
9 その他	1人	5.0%

**★「その他」の内容**

バスの運行本数を増やす。休日の本数を平日に近づける。

Ⅱ 二子玉川駅周辺のエリアマネジメントについて

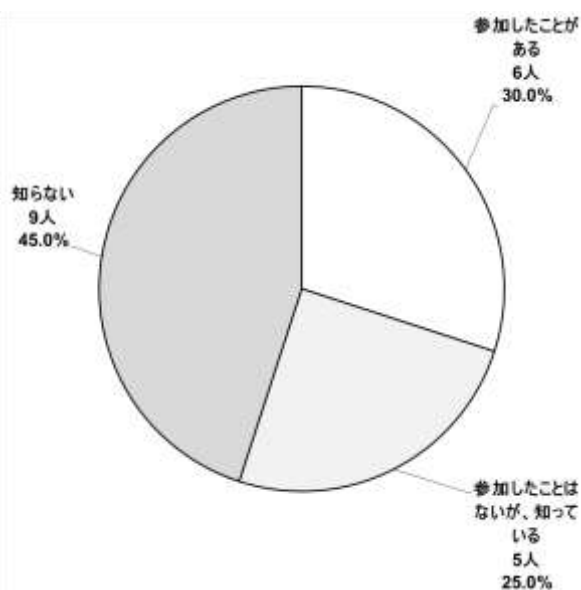
問 19

二子玉川駅周辺や多摩川河川敷で「一般社団法人二子玉川エリアマネジメント」が実施する上記の取り組み等の参加状況について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

<回答>

- ・「知らない」が9人(45.0%)、「参加したことがある」が6人(30.0%)、「参加したことはないが、知っている」が5人(25.0%)となっています。参加したイベントとしてはMizube Fun Baseのイベントなどが挙げられています。

選択肢	回答数	割合
1 参加したことがある	6人	30.0%
2 参加したことはないが、知っている	5人	25.0%
3 知らない	9人	45.0%



参加したイベントの名称

花みず木フェスティバル
兵庫島のイベント
TAMAGAWA BREW、 Mizube Fun Base Week
Mizube Fun Base、 かわのまちアクション
橋脚アート 他

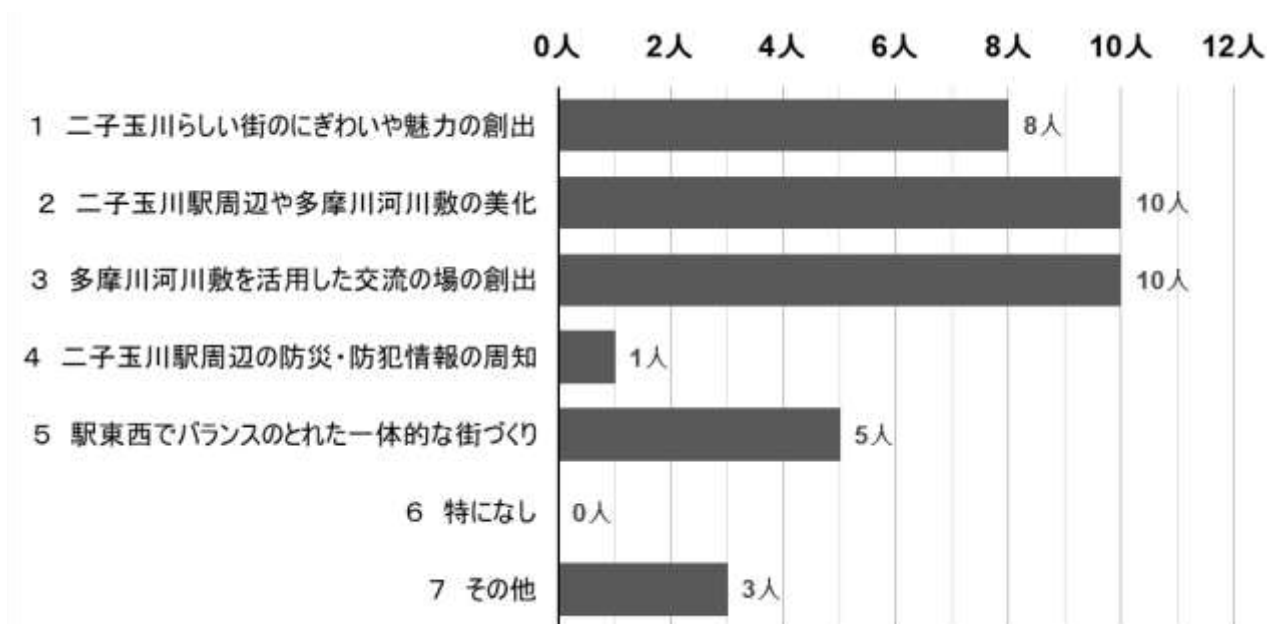
問 20

今後、二子玉川駅周辺や多摩川河川敷における、上記団体と行政による活動に期待することについて、あてはまるもの2つに○をつけてください。

<回答>

- ・「二子玉川駅周辺や多摩川河川敷の美化（清掃、落書き消し、除草）」と「多摩川河川敷を活用した交流の場や街づくりの活動の場の創出」が最も多く延べ10人（50.0%）となっています。

選択肢	回答数	割合
1 二子玉川らしい駅周辺の街のにぎわいや魅力の創出	8人	40.0%
2 二子玉川駅周辺や多摩川河川敷の美化（清掃、落書き消し、除草）	10人	50.0%
3 多摩川河川敷を活用した交流の場や街づくりの活動の場の創出	10人	50.0%
4 二子玉川駅周辺の防災・防犯情報の周知	1人	5.0%
5 駅の東西でバランスのとれた一体的な街づくり	5人	25.0%
6 特になし	—	—
7 その他	3人	15.0%



★「その他」の内容

兵庫島公園から二子玉川公園への河川区域内の回遊性強化、堤防天端通行、駅から兵庫島公園へのアクセス案内強化など。

その場所が持つべき、誰をも迎え入れる居心地、リラックスできる安心感、そこでこそ何かをやりたくなるワクワク感を創出するトータルデザイン。

川沿いの土地を利用し、デイキャンプや野外体験のメッカ（教育的施設）を作ってほしい。フリースクール×野外体験の施設があるといい。

4 玉川地域の街づくりについて

問 2 1

区が玉川地域のまちの姿（問 7 をご参照ください）を実現するため、特に力を入れるべきと思う場所があれば、理由を添えてご記入ください。

<回答>

- ・二子玉川駅周辺地区や大井町線沿線などに関する意見が挙がっています。

● 奥沢駅・自由が丘駅周辺地区

場所	理由
自由が丘駅周辺	現在再開発が進められているので、目黒区、エリアマネジメント会社と連携し、賑わいの中にも緑の安らぎのあるまちづくり。

● 上野毛駅・中町周辺地区、九品仏駅周辺地区、等々力駅・尾山台駅地区

場所	理由
九品仏、尾山台、等々力、上野毛地域	二子玉川と自由が丘に挟まれたこの地域は、住居地域として緑豊かでゆとりある住宅街、農地が身近にある地域として守られることが、豊かな緑も地域に点在する歴史的、文化的遺産も守ることに繋がると思うので、昨今の高齢化に伴う土地の分筆、旗型地の増加、密集市街地化、低層住宅地にも拘らず建物の高層化（3階建、4階建相当の建物）、屋上付など景観・美観は失われているのが現状です。
九品仏地区の商店街	周囲の商店街と比較すると歩道がなく、路上駐車があると通行の妨げになる。駐車場、広場が少ない。100年後など長期的視野で一定距離ごとに広場や駐車場を設ける都市計画があってもよいのではないかと。

● 桜新町駅周辺地区、新町・駒沢四丁目地区

場所	理由
新町	通り抜けをなくし、居住者専用道路のルールを徹底させてほしい。

● 玉川野毛町公園周辺地区

場所	理由
野毛町公園などの公園	都心で住宅が密集する世田谷区だからこそ、緑を絶やさず、むしろ増やし、そこに教育機関をからめることにより、若い世代の住民の定着、また移住してきたいと思える魅力ある町づくりにつながっていくと考えるため。

● 二子玉川駅周辺地区

場所	理由
二子玉川	相続で賃貸マンションを建てました。古いからこのビル建て直して、無駄のない効率化したデザインにします。のような、建物が増えているから。
二子玉川	玉川地域の拠点として、さまざまな発信をして地域全体に波及させる。

● 用賀駅周辺地区

場所	理由
首都高速道路 3 号線高架下用賀駅周辺エリア	活動交流の拠点は二子玉川だけでなく各生活圈エリアごとに小規模分散で創出する方がいいと考えるから。

● 安全で災害に強いまち

場所	理由
玉堤 1、2 丁目	多摩川の増水の影響を受けやすいため、万全な水害対策が必須です。

場所	理由
多摩川沿いの地区	安全・安心が大前提だと思うので。豪雨・浸水対策は引き続き重点的に取り組んで欲しい。

● 活動・交流の拠点をもつまち

場所	理由
玉堤 1、2 丁目	公共施設(児童公園、文化スポーツ施設や各種活動拠点)、医療機関、教育施設、商業施設が不足しているため、どの年代も恩恵を受けられず、孤立しやすい地域です。人口は増えてつつあり、早急な整備が必要なため。

● 地域資源の魅力を高めるまち

場所	理由
多摩川流域	世田谷区の中でも玉川エリアのみ多摩川に近く、エリアとして重要なポイントと考えるから

問 2 2

玉川地域の街づくりについて、ご意見などありましたらご記入ください。

<回答>

- ・住環境の保全や利便性の向上などについての意見が挙がっています。

● 二子玉川駅周辺地区

夏場に休憩できるベンチが少ないため、二子玉川公園のベンチに日陰が増えるように、樹木を増やしたりベンチの位置を調整して欲しいです。

二子玉川の河川域については支所をまたぐことから、ぜひ砦地域と合同のチームを設けていただきたいです。

● みどり豊かで住みやすいまち

新しいマンションが乱立しているエリア。
企業の方をお願いしたい。マンション、商業施設、公開空地まで、どの1階にも新しいデザインを発明することが可能。つくるのなら200%地域に貢献できるものを。そして、市民の幸福度とエリアの価値を高めていけるようなまちづくりの観点を取り入れてほしい。

● 活動・交流の拠点をもつまち

フリースクール等の新しい教育の選択肢を増やす団体や、プレーパークなどの公園交流施設がコラボレーションすることにより、世田谷区の交流と教育を促進していくとよい。

● 地域資源の魅力を高めるまち

住居地域は住居地域としてしっかり守り、美観・景観を保つ努力をして欲しい。その上で、商業地域の充実、アクセス、住居地域とのスムーズなコネクションを模索して欲しい。

住環境を守りつつ、地域の人が居心地の良い施設、名所を整える。

● 誰もが快適に移動できるまち

緑豊かな環境は大切にしつつ、住民の利便性を上げるべく、文化スポーツ施設、教育施設、医療機関、商業施設を充実させて、徒歩や自転車、公共交通機関でアクセスしやすい街づくりを目指してほしい。

● その他

100年近く前の民間(住民)主体の玉川全円耕地整理による開発のため、長期的視野を取り入れ幅広い世代の住民の意見も反映して都市計画を見直して欲しいです。

5 世田谷区全体の街づくりについて

問 2 3

世田谷区全体の街づくりについて、ご意見などありましたらご記入ください。

<回答>

- ・電線地中化や空き家対策、みどり豊かな住環境の保全、路線バスの充実など、さまざまなテーマの意見が挙がりました。広い世田谷区において、5つの地域間の交流や、世田谷区全体としてのまとまりを望む意見もありました。

● 安全で災害に強いまち

狭あい道路が多い。

災害対策としても古屋の建替えにおいては、建築基準を柔軟に行うべき。昭和からの時代的背景（ひいては当時の役所が認めてきた基準）を負の遺産として背負ってる狭小地域に現行の制度（協定道路など）でしぼりつけ再建築不可地域を無駄に増やしている。世田谷区の（狭小）住宅地としての歴史を加味して田舎と同等基準しか当てはめないのは役所の怠慢だと思います。

● みどり豊かで住みやすいまち

細かな緑よりまとまった緑に力を入れて欲しい。

世田谷区は広く、地域差が大きくある区なので、その特徴をそれぞれが活かしてネットワークを作りお互いに刺激し合い発展、繁栄に繋げる関係の構築をお願いしたいです。住居地域には商業施設の混雑はさせない。姉妹都市のアメリカを参考にして、魅力ある街づくりを！

新築住宅の建設に規制をかけてほしい。

小さくても良いので住宅地の農的公共スペースの確保をしてほしい。

● 活動・交流の拠点をもつまち

活気ある駅周辺環境を持った駅が少ない。

世田谷区のプレーパークなどの施設を増やし、そこに民間のフリースクール等の教育機関を入れ込むことで、地域の交流の場を増やし、子どもたちがすみやすい「不登校ゼロ」を目指すような場所に世田谷区をしていきたいです。

● 地域資源の魅力を高めるまち

名ばかりの「公共」ではなく、真の「Public」を実現してほしい。公共施設に歩道に公園、愛着が持てる空間と楽しい管理、市民を全力で応援するコミュニケーションによりトータルでデザインを。

● 誰もが快適に移動できるまち

南北の交通ルートに問題がある。

世田谷区内の公共交通機関での移動が大変なため。せつかくの施設やサービスを十分に利用できない。

道路などの役割、機能の考え方の転換。

歴史的にみても、道路は交通だけでなく、祭礼、芸能、交流などが広く行われた空間だった。

都市計画道路も、「道が広がって便利になった」(20世紀の道づくり)→「いろいろな人が集まる場ができた」「イベントの場が広がった」「緑が増えて楽しめる」と市民が感じる道づくり、沿道づくり、空間のネットワークづくりに転換したい。

● その他

街づくりに熱心なのが一部住民だけであることは望ましくないので、さらなる広報・周知により幅広い住民で共通の課題を認識、共有して解決していく方向に推進して欲しい。

地域ごとにコンディションが大きく異なるなかで進めてくださり感謝です。

職員が楽しく働けるまちづくり。

街づくりとは直接関係ないですが、区のおしらせ「せたがや」を全戸に配布してほしいです。

6 区民主体の身近な街づくりについて

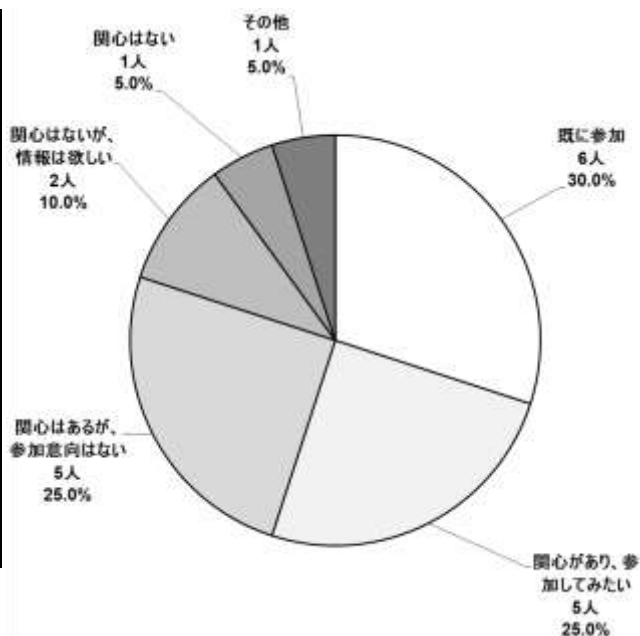
問 2 4

街づくりを推進するためには、区民・事業者と区が協働して進めることが大切ですが、こうした街づくりへの関心や、街づくり活動への参加意向について、あてはまるものに○をつけてください。差し支えない範囲で1については〔参加した活動名〕、3については〔理由〕をご記入ください。

<回答>

- ・「既に参加している」が最も多く6人（30.0%）であり、次いで「街づくりへの関心はあり、活動に参加してみたい」と「街づくりへの関心はあるが、活動に参加する意向はない」が5人（25.0%）などの順となっています。
- ・「既に参加している」と回答した方の活動は、「ボランティア」や「意見交換会」などでした。

選択肢	回答数	割合
1 既に参加している	6人	30.0%
2 街づくりへの関心はあり、活動に参加してみたい	5人	25.0%
3 街づくりへの関心はあるが、活動に参加する意向はない	5人	25.0%
4 街づくりへの関心はないが、情報は欲しい	2人	10.0%
5 街づくりへの関心はない	1人	5.0%
6 その他	1人	5.0%



★「その他」の内容

まちづくりも建築も興味はありますが、私自身の参加できる時間とエネルギーが限られています。街をランドデザインできる、新たな視点でランドデザイン力のある専門家はいませんか？

街づくり活動の内容 (選択肢1を選んだ場合に回答)

車座集会、タウンミーティング、世田谷トラストほか
 説明会や意見交換会など
 地域整備方針意見交換会
 古着回収ボランティア